

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設 設  
指定管理者  
指定期間  
施設所管課

相模原公園
公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネグループ
H21.4.1 ～ H27.3.31
都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**A**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt;1 管理運営等の状況&gt; 植物管理全般において、非常に高い水準で維持されており、大変良好である。特に芝生地の管理については、利用者が快適に過ごせるよう、芝刈の回数を基準より増やして実施していた。また、外来植物にも気を配り、芝生地においては定期的に駆除していた。</p> <p>&lt;2 収支状況&gt; 収支状況は、収支差額が+-10%未満の範囲にあり、概ね計画通り実施されていたのでB判定としている。</p> <p>&lt;3 利用状況&gt; 今夏、初めて実施した「真夏の夜のファンタジア」では、地域の団体との連携により、噴水広場のライトアップとライブステージは幻想的なロケーションを作り出し真夏の夕暮れのイベントを盛大に実施できた。 また、イベントだけの連携ではなく、本公園を実習地として地域の障がい者就労支援施設の実習生他を受け入れ、地域貢献も行っていった。</p> <p>&lt;4 利用者の満足度&gt; 花修景についても、花のある公園として、メインとなるハナショウブをはじめ、ネモフィラ、噴水広場花壇などゾーンごとの花の管理をしっかりと行い、利用者が楽しんでいった。</p> <p>&lt;5 苦情・要望等&gt; トイレの衛生面での苦情・要望があったが、迅速に対応した姿勢は評価できる。</p> <p>&lt;6 事故・不祥事等&gt; 刈払機で除草中に小石が跳ね市道を走行中の車のフロントガラスにひび割れを起こす事故が発生したが、直ちに抜本的な事故対策を講じ、安全管理に努めている姿勢は高く評価できる。</p> <p>&lt;今後の方針等&gt; 今まで以上に良好な管理運営ができるよう管理水準の目標を高めて園内美化に努め、また、利用者増を図るべく新たなイベント等を企画・立案・実行できることを期待したい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **A**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	花と緑と文化が薫る魅力的な公園づくりとして、園内各ゾーンにおいて特色ある花修景を行い、利用者に満足いただける管理を目指します。	相模原公園ならではの花の植栽に取り組み、グループ企業のノウハウを活かし、他の公園では見ることのできない花の植栽とグリーンハウスの特色を活かして一足早い季節の花の展示や温室内の展示方法を工夫し、利用者が楽しめる演出を行っていた。また、ハンギングやプランターの積極的な活用により、花の少ない時期を活性化させていた。 定期的に行っているハナショウブやネモフィラについても利用者が満足できる花修景を作り出していた。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	花と緑と人にふれあう快適な生活空間の提供として自然や花、文化等を満喫していただけるふれあいの空間を創出し提供します。	グループ企業の新品種（サンチュラカ、サンパチェンス）を使った噴水広場の花壇修景は他の公園では見ることのできない景観となり、その花壇周辺では、様々なグループや家族連れがシートを敷いてくつろぐ姿が多く見られた。 グリーンハウス内では、50年に一度しか咲かない「センチュリーフラワー」が咲いたことを積極的に広報し、新聞各紙にも取り上げられ集客増につながった。
3 (指定管理業務)	ボランティア団体との協働により、県民参加型の誰からも愛される公園づくりを目指します。	地域のボランティア団体と協働で蝶の実態調査を行い、園内の自然環境の把握に努め、その中間報告として、夏休みの期間を利用した特別展をグリーンハウス内で開催したところ利用者に大変好評であった。 また、新たに実施した「真夏の夜のファンタジア」は、夏の夕べを、噴水広場全体を使ったライトアップとライブステージで幻想的な空間の演出を利用者に楽しんでもらっていた。このイベント開催に当たっては、相模原造園協同組合や相模原市ウィンドアンサンブル他の団体との協働での実施となり盛況なイベントとなった。
4 (指定管理業務)	花と緑と自然のふれあいの場づくりとして、園内の花修景づくりと共に、公園内の豊かな自然を身近に感じられる機会の提供を行います。	公園ナビステーションの運営が軌道にのり、園芸、自然、樹木等あらゆる質問、疑問に答えていた。また、園内ガイドツアーを月2回実施し、園内を巡りながら行う自然観察会はリピート率も高く、定着している。ナビステーションで植物や身近な川魚などの展示は、子どもから大人まで興味を引き、自然を身近に感じる場所となっている。 グリーンハウスでは館長の温室ガイドツアーを開催しており、熱帯植物の面白さなどを興味深く解説し好評となっている。
5 (指定管理業務)	地域に愛され、地域振興に貢献できる公園として関係機関との連携や協働をより強化し、信頼関係を深め、地域に貢献できる公園づくりに取り組みます。	各種イベント等での地域やボランティア団体との協働による取組みに加え、新たな団体との協働や地域貢献を実施した。 近隣にある障がい者就労自立支援施設との連携により、野外清掃や花壇の手入れ等、野外作業の実習地として施設所属の実習生を受け入れ協働することができた。 （社）日本庭園協会神奈川支部や相模原市造園組合などの団体が園内にある「日本庭園」や「見本庭園」で、技術の伝承を目的とした庭園整備の実習を行い、利用者によるその工程等を公開することができた。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月20日	○	○	○	無	
5月	6月10日	6月17日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月25日	○	○	○	無	
7月	8月9日	8月20日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月26日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月21日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限 翌月 の 10 日まで

## 2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。  
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。  
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。  
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		230,385	5,422	9,220	245,027			245,027
年度計画	前年度	221,000	5,800	9,800	236,600	236,600	0	0
	上半期	114,386	3,320	4,900	122,606	122,606		0
	下半期	106,614	2,480	4,900	113,994	113,994		0
	今年度	221,184	5,900	9,900	236,984	122,314	0	114,670
	上半期	113,964	3,400	4,950	122,314	122,314		0
	下半期	107,220	2,500	4,950	114,670			114,670
上半期実績	4月	14,427	364	924	15,715	14,174		1,541
	5月	22,180	603	1,676	24,459	22,164		2,295
	6月	20,004	403	1,153	21,560	22,660		▲ 1,100
	7月	20,246	114		20,360	21,659		▲ 1,299
	8月	17,301	122		17,423	16,071		1,352
	9月	19,806	203	753	20,762	19,212		1,550
	上半期合計	113,964	1,809	4,506	120,279	115,940	0	4,339
	対収支計画比	0.0%	▲ 46.8%	▲ 9.0%	① ▲ 1.7%	② ▲ 5.2%		③ 3.5%
参考	前年度 上半期実績合計	114,386	1,788	4,109	120,283	117,800		2,483
	対前年度 上半期実績比				0.0%	-1.6%		

※その他収入の内容 都市公園の駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	1,551	井戸修繕 319、トイレ自動ドア修繕 449、トイレ修繕 783
下半期		
合計	1,551	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	69,463 人	77,072 人	90.1 %
5月	113,977 人	106,472 人	107.0 %
6月	72,098 人	83,982 人	85.9 %
7月	45,458 人	45,575 人	99.7 %
8月	44,734 人	48,562 人	92.1 %
9月	45,475 人	33,955 人	133.9 %
合計	391,205 人	395,618 人	98.9 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	391,205 人	395,618 人	298,000 人	① 131.3 %	② 98.9 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	391,205 人	395,618 人	298,000 人	31.3 %	▲ 1.2 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	平期ごと	その他の場合の基準
	過去数年間平均	

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	5月及び9月の利用者数の増加により目標値を上回った。 5月については、ゴールデンウィークの利用者増のほか、乳幼児を持つファミリーをターゲットにした参加型のイベント実施が利用者増につながった。 9月については天候に恵まれたこととホームページ等を利用した広報活動により、ピクニック等に利用する来場者の増加があった。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	850						850
年間利用可能日数	365						
最大人数	310,250	0	0	0	0	0	310,250
半期	155,125	0	0	0	0	0	155,125

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

（評価の目安）

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- －：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	72	19	0	0	1	92	91 (99.0%)

※今年度の実施予定

※配布・回収件数

※実施方法

上半期 6 回	下半期 4 回	その他
配布 92 件	回収 92 件	回収率 100.0% %
利用者等に配布	リストから選択	リストから選択
		リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 **B**

（評価の目安）

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

##### 受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	1	1	0	0	11	13
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

##### 苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	クロッカスのトイレが汚れている	朝の清掃を行ったが、GW中で利用者が多く汚れてしまった。即清掃を実施した。
	手洗い用に石鹼を付けてほしい	他のトイレも調査し、必要などころには液体せっけん用容器を設置し、使えるようにした。
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

### 発生状況及び対応状況

**該当あり**

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
4月26日	自家用車窓ガラス破損 公園と県道の境界の雑草を刈払機で除草中市道を走行中の車のフロントガラスに小石が跳ね、ガラスがひび割れた	ナイロンコードを使用した除草作業にあたっては、小石等の飛散防止のため、防護板の飛散防止のため、防護板を別の管理員が持ち、安全対策を十分に施していたが、防護板の枠外に小石が飛んでしまい、被害者の車を破損させてしまった。	ひび割れたガラスの修理を行い、同様の事故がないよう、作業前の点検を行うとともに、ナイロンコードの使用を中止し、チップソーまたは石跳ね防止装置を装着しての作業とした。

### 随時モニタリングの実施状況

**該当なし**

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		